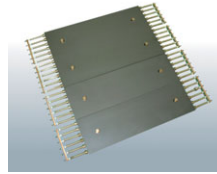


「赤外線真空乾燥装置」が(社)遠赤外線協会の平成21年度優秀製品・技術賞を受賞

6月3日、当社と(株)ノリタケカンパニーリミテドは、共同開発品の「赤外線真空乾燥装置」が評価され、社団法人遠赤外線協会主催の平成21年度優秀製品・技術賞として受賞され、表彰されました。

「赤外線真空乾燥装置」は、 10^{-5} Paの高真空下において、液晶ディスプレイ等のガラス基盤を400℃以上の高温で加熱・乾燥する装置であります。本装置は温度制御性が ± 3 ℃以内と高く、従来機(ガス式、炉壁ヒータ式)と比較してランニングコスト1/5~1/10と大幅にコスト低減できることが評価され、受賞に至りました。本装置の普及により、次世代ディスプレイが省エネで安く販売されることが期待されます。



外観(4モジュール)



赤外線真空乾燥装置



受賞された河村研究副主査

中部電力グループ 技術情報交換会 初開催

6月12日、東桜会館にて、「中部電力グループ技術情報交換会」を初めて開催しました。

冒頭あいさつした田中前技術開発本部長は、「グループを取り巻く環境が厳しさを増す中、グループが連携して総合力を一層発揮することが求められている。グループ全体の技術力向上のためには、目標や方向性を共有するなど横の連携が重要。こうした取り組みを積み重ねグループ全体の技術開発を活性化していきたい」と述べられました。

今回は、技術系グループ企業7社と当社の計8社が技術開発の取り組みを紹介するとともに、グループで情報を共有しながら技術開発を進めていくための意見交換も活発に行われました。



あいさつする田中前技術開発本部長

でんきの科学館で動体画像認識システムの体験会を開催

7月18日、8月25、26日に「夢のカメラに映ってみよう」と題して、でんきの科学館実験体験コーナーで、研究開発した動体画像認識システムの体験会を開催しました。このシステムは、ビデオカメラの前を通過した物体の形の特徴から、その物体を人・自転車・車に自動的に判別するもの。当日は夏休み初日で多数の家族が訪れ、子供たちがシステムを体験しました。「ロボットの目に使えないか」などの質問が出され、子供たちの興味を集めていました。



体験会で説明する尾崎研究副主査